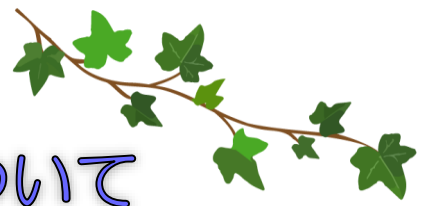


介護予防ケアマネジメント アドバイザー派遣事業について



介護支援専門員が抱える業務困難感等に係る相談に応じることを目的にアドバイザーを派遣しています。個別相談はもちろん、必要に応じて地域包括支援センター圏域毎の集団支援も行います。

★アドバイザーとは★

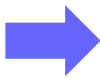
主任ケアマネや地域包括支援センターの職員など、宮崎県から委嘱を受けたアドバイザーが県内にいます。相談者のお住まいの地域や相談内容に応じて、適切なアドバイザーを選任します。

★事業目的★

自立支援に資する介護予防ケアマネジメントを推進することにより、高齢者の介護予防、要介護状態の重度化防止を図ります。
また、介護支援専門員の地域偏在や人材確保が喫緊の課題であることから、業務内容に関する個別の相談等に応じることにより、離職の防止に繋がります。

アドバイザー派遣の流れ

どうしても似たようなプランになってしまふ。目標設定を具体的にするにはどうしたらいいかな？本人の意向を具体的に引き出すって難しいなあ💧



アドバイザーの派遣を希望する際は、事務局にお電話ください
TEL0985-61-1830



アドバイザーが伺います♪

個別相談を受けたケアマネさんの感想

◎何年も継続して予防プランを作っているが行き詰まりを感じていた。アドバイザーから目標設定について助言をもらい、前向きになることができた。

(ケアマネ歴10年)

◎どのように関わり支援していけばいいのか、利用者の気持ちを考え、積極的に取り組みたいと思えた。

(ケアマネ歴2か月)



【問い合わせ先】

一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会

宮崎市橋通西5丁目6-57 山崎ビル4階

TEL 0985-61-1830 FAX 0985-61-1832

年間 421,000件の相談とは？

約42万件。これは、2023年度に消費生活センター等に寄せられた50歳以上の方の相談件数です。

50歳以上からの相談が、全体の過半数を占めています。



軽度認知障害(MCI)の方は、被害に遭っていることに気づきにくいいため、周りの方の注意が必要です。

8,8兆円とは何でしょう？

8,8兆円とは、2023年に起きた消費者トラブルにおける被害額の推計です。



2023年は、 909,000万件！
<前年(87,6万件)より3,7%増加>
年齢層別
65歳以上の高齢者が契約当事者全体の30,5%
50歳代が15,9%と最多
次いで60歳代・70歳代が共に14,7%



認知症が進行すると契約をする以前に、スマートフォンやパソコンの操作が困難な為、被害に遭いにくいと思われそうですが、軽度認知障害の方は、操作が十分に出来る方も多く、被害に遭いやすいと思われそうです。ケアマネジャーなど地域で見守る多様な担い手の気づきが、トラブルを未然に防ぐことにつながります。

第27回 介護支援専門員実務研修受講試験

令和6年10月13日に試験が実施されました。

宮崎県では165人が合格！！

今年度の合格率は25.3%で、全国の合格率は31.9%でした。

問題を2問掲載します。皆さんも解いてみてください！



Q1.後期高齢者医療制度について正しいものはどれか、3つ選べ

- 1.保険料は、厚生労働省令で定める
- 2.生活保護受給者は、被保険者にならない
- 3.被保険者には、65歳以上75歳未満であって、後期高齢者医療広域連合会の障害認定を受けた者も含まれる
- 4.後期高齢者医療広域連合は、特別な理由があるものに対し、保険料を減免することができる
- 5.訪問看護医療費の支給は、給付に含まれない



Q2.Aさん（85歳、女性）は、長女と二人暮らしである。Aさんは自宅で転倒し腰椎を圧迫骨折し、1か月入院した。退院後、筋力低下が著しく、要支援2の認定を受けた。介護支援専門員が説明したところ、Aさんは以前のように自分で家事や入浴をしたいと希望しているが、長女は転倒を心配してデイサービスでの入浴介助を希望していて折り合わない。自立支援・重度化防止の観点に立った介護支援専門員の対応として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1.長女の希望だけに沿ったケアプランを作成する
- 2.筋力低下の原因や回復方法等の確認のため、医師、理学療法士、管理栄養士などに相談する。
- 3.自宅での転倒リスクを軽減し、出来るだけ自宅での自立した生活を営めるように生活環境全般を把握する
- 4.様子を見るため、あえて目標や期間を定めずに介護予防通所リハビリテーションの利用を位置付ける。
- 5.Aさんと長女を交えて、自立支援・重度化防止に向けた話し合いの場を設ける



Q1答え：2.3.4

- 1.後期高齢者医療制度の保険料を設定するのは、都道府県ごとの後期高齢医療広域連合です。
- 5.訪問看護療養費の支給も、後期高齢者医療制度の給付に含まれます。

Q2答え：2.3.5

- 1.ケアプランは、利用者の希望に沿って作成することが第一です。家族と利用者の意見が一致しないことも少なくなく、利用者の希望と家族の希望を上手く擦り合わせながらケアプランを作成していくことが望ましいです。
- 3.重度化防止や自立支援を行っていくうえで転倒リスクの軽減は優先すべき課題の一つです。課題解決のために、生活環境全般を把握することも重要です。
- 4.ケアプランには目標を設定しその期間についても設定するのが原則です。
- 5.選択肢1の解説と同様です。

今回のみやざき市ケアマネ協だよりはいかがでしたでしょうか。

今後の広報誌作成や委員会の活動に活かしていきますので、ご意見やご要望がございましたら、当協議会のホームページ内にあります「お問い合わせ」よりご連絡ください。

広報委員会一同